

平成30年度英語教育実施状況調査の結果について

1 調査主体

文部科学省

2 調査対象

各都道府県・市町村教育委員会

全ての公立小学校・中学校・義務教育諸学校・高等学校・中等教育学校

3 主な調査項目

- 中学校、高等学校の英語担当教員の英語力：CEFR B2レベル相当以上を取得した割合
- 生徒の英語力
 - ・中学校3年生のうち、CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合
 - ・高校3年生のうち、CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合
- 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標の設定状況等
- 授業における英語担当教員の英語使用状況

4 本県公立中学校・高等学校の主な調査結果の概要 ※本県データの下段はH29の結果(%)

中学校（仙台市を除く）		（%）	
調査項目		全国	本県
英語担当教員 CEFR B2 レベル以上		36.2	27.4 (26.2)
CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒数		42.6	42.8 (42.7)
CAN-DO リストの設定状況	設定	90.0	100.0 (100)
	公表	20.8	26.3 (19.0)
	把握	49.2	99.3 (100)
授業における英語担当者の英語使用状況	1年	75.1	73.8 (67.0)
	2年	74.8	74.1 (68.7)
	3年	73.5	73.9 (68.6)

高等学校（仙台市を含む）		（%）	
調査項目		全国	本県
英語担当教員 CEFR B2 レベル以上		68.2	50.8 (51.0)
CEFR A2 レベル相当以上の英語力を有する生徒数		40.2	31.1 (27.9)
CAN-DO リストの設定状況	設定	95.0	100.0 (99.0)
	公表	41.8	39.6 (44.9)
	把握	55.2	96.9 (98.0)
授業における英語担当者の英語使用状況	普通科	50.4	49.9 (46.4)
	専門学科 総合学科	48.2	41.5 (28.2) (37.7)
	英語科	88.4	100.0 (100.0)

5 県教育委員会としての今後の対応

- 本県中学校・高校の生徒の英語力、教員の現状とも今後さらなる改善が必要であると認識している。
- 生徒の英語力の向上と英語担当教員の指導力の改善に向けて、平成30年3月に「みやぎの英語教育推進計画」を策定した。
- 平成31年度は、従来の研修に加え、次の事業を実施する予定である。
 - ・生徒向け English Camp ・英語能力測定テスト事業
 - ・外国語指導力向上研修会 ・小学校外国語活動・外国語研修会
 - ・高等学校英語による発信型指導力向上研修会